

- ・咽頭結膜熱（プール熱）は都の定点当たり報告数が3.23と**警報レベル**が続いています。
- ・インフルエンザは都の定点当たり報告数が20.30と**注意報レベル**が続いています。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が増加傾向にあり、注意が必要です。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数が増加傾向にあり、注意が必要です。

全数報告対象疾患

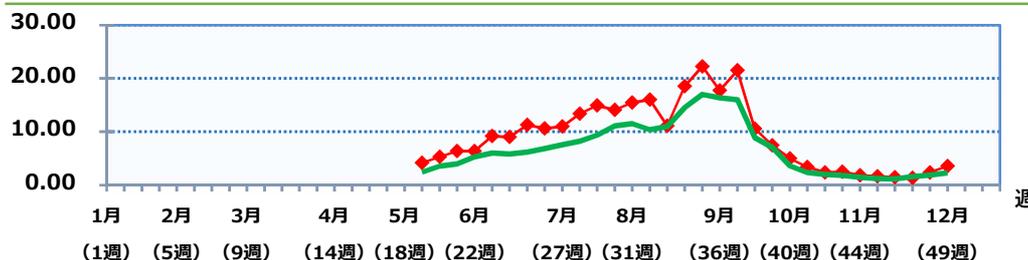
- （五類）麻しん 2件
 - ・（50代女性）検査診断例、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、麻しん含有ワクチン接種歴は不明
 - ・（5歳未満男性）検査診断例、感染地は国内、感染経路は接触感染、麻しん含有ワクチン接種歴は無し
- （五類）梅毒 1件
 - ・（70代男性）病型は早期Ⅰ期、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触

定点把握対象疾患

定点医療機関当たり患者報告数  2023 北区
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)  2023 東京都

新型コロナウイルス感染症 ※令和5年5月8日より定点把握対象疾患に移行しました。

	前週 11/27～12/3	【最新】 12/4～12/10	傾向
北区	2.36	3.55	
東京都	1.89	2.31	



Topics

今年の冬は咽頭結膜熱が流行しています

咽頭結膜熱は例年夏に流行しますが、今年は8月以降に患者数が増加し、10月には警報レベルの流行となりました。現在も流行は続いており、インフルエンザ等の感染症と合わせて注意が必要です。

【咽頭結膜熱とは】

咽頭結膜熱は、アデノウイルスによって感染する病気です。流行は主に夏季で、プールでの感染があることから「プール熱」とも呼ばれます。発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状がみられ、高熱が比較的長く続くことがあります。特別な治療法はなく、症状に合わせた対症療法が行われます。頻度は高くありませんが、重症化した場合は肺炎などを合併することがあるため、高熱が続く、ぐったりしている、咳が激しい時などは早めに医療機関に相談しましょう。

【主な感染経路】

アデノウイルスは感染力が非常に強いウイルスです。患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染（飛沫感染）、あるいは目やにや尿・便の中に出たウイルスが付着した手や、タオルなど患者が触れたものを介して、ウイルスが口や目の中に入ることによって感染します（接触感染）。

【感染の拡大を防ぐには】

- ①アデノウイルスにはアルコール消毒は効きにくいので、石鹸と流水でのこまめな手洗いをしましょう。
- ②むやみに目や口に触れないようにしましょう。
- ③患者との密接な接触を避け、タオルの共用はしないようにしましょう。
- ④症状消失後も、約1か月は尿・便からウイルスが排泄されるため、症状がなくなっても、念入りな手洗い、排泄物の処理に注意しましょう。

定点把握対象疾患

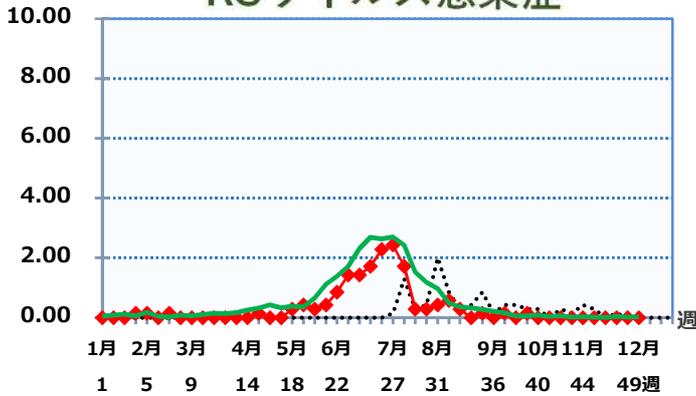
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2022 北区
 ◆ 2023 北区
 — 2023 東京都

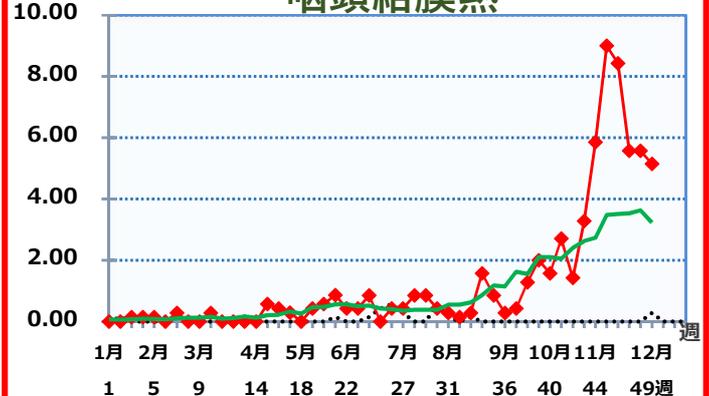
警報

警報レベルが続いており、注意が必要です。

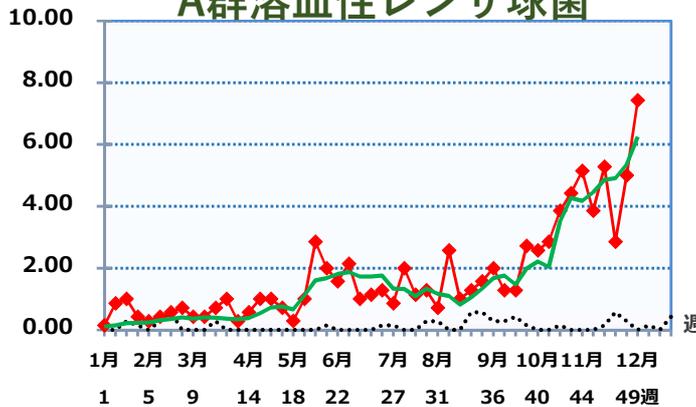
RSウイルス感染症



咽頭結膜熱



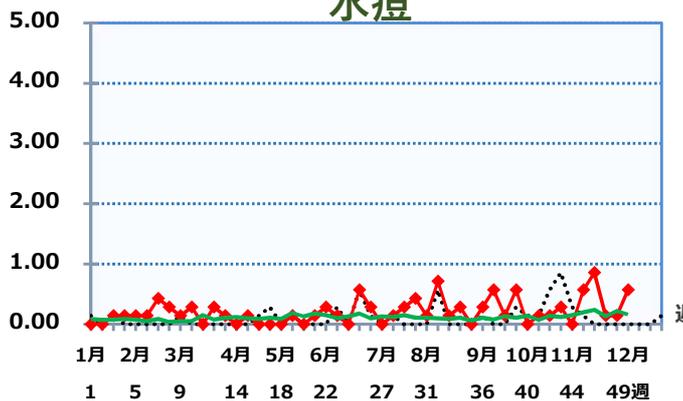
A群溶血性レンサ球菌



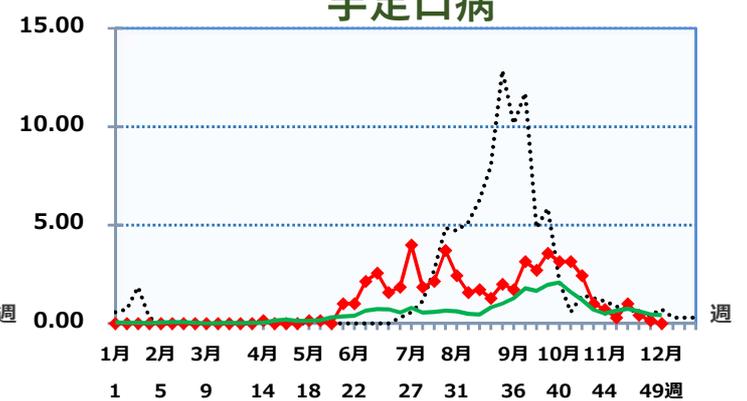
感染性胃腸炎



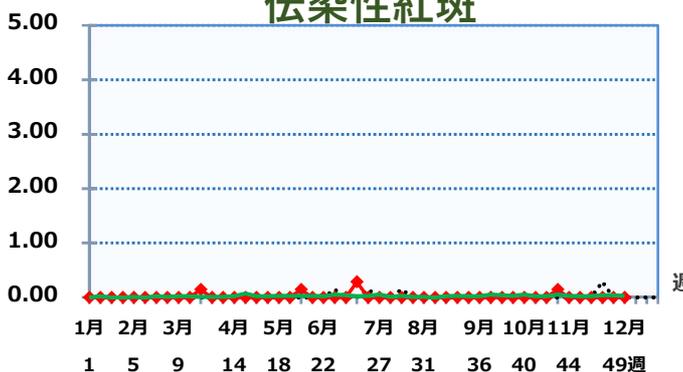
水痘



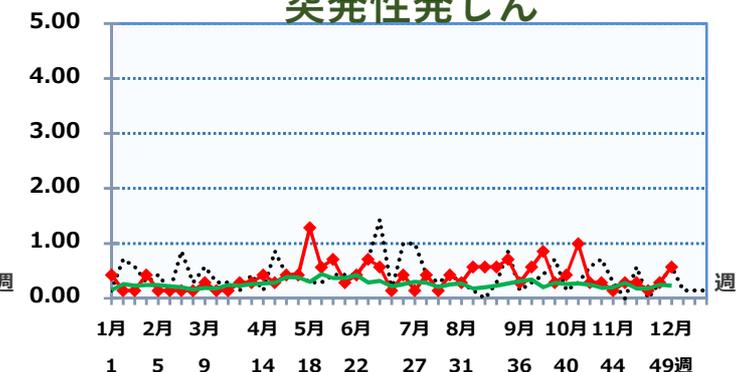
手足口病



伝染性紅斑



突発性発しん

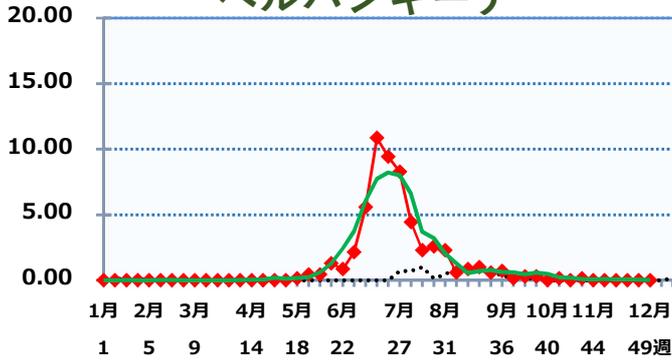


定点把握対象疾患

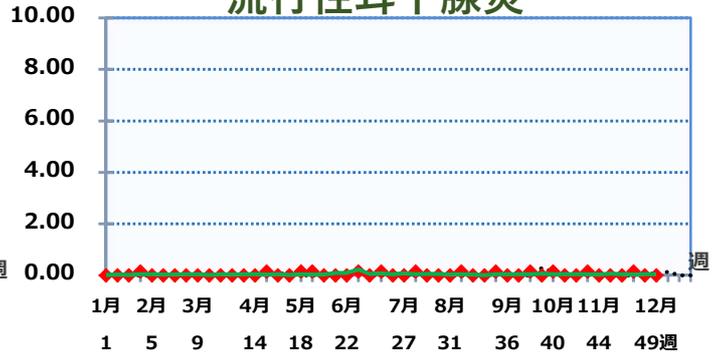
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2022 北区
 ◆ 2023 北区
 — 2023 東京都

ヘルパンギーナ



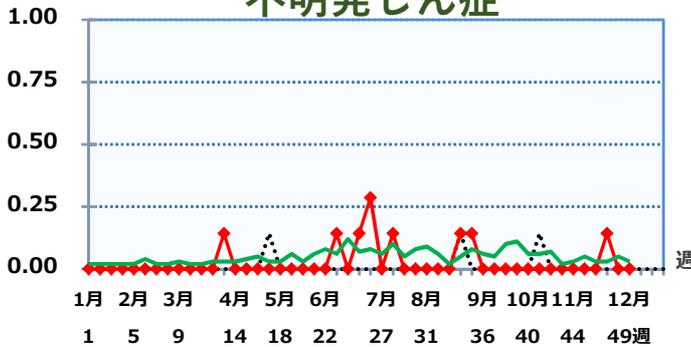
流行性耳下腺炎



川崎病

北区 : 定点医療機関当たり患者報告数 : 0.00
 東京都 : 定点医療機関当たり患者報告数 : 0.00

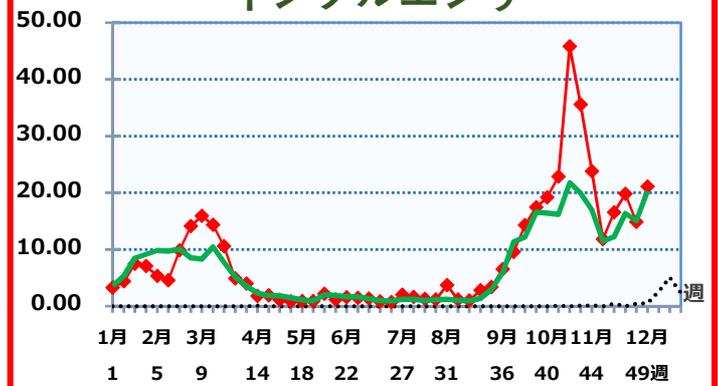
不明発しん症



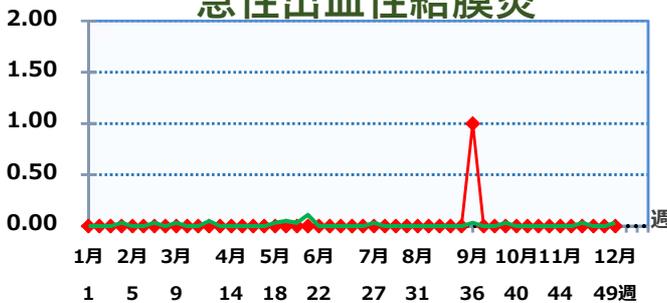
注意

注意報レベルが続いており、注意が必要です。

インフルエンザ



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



性感染症 (2023年11月分まで) ※梅毒は「全数報告対象疾患」に掲載しています。

2023年12月分は2023年第53週号にて掲載予定です。

